



規定部門
高校生部の
最優秀賞

福元 瑠々華 さん

(鹿児島女子高校三年)

この度は最優秀賞という素晴らしい賞をいただきありがとうございます。私は第一回オーブンキャンプに参加した際、カクテルコンペティションがあることを知りました。模擬授業で初めて触る道具もありましたが、先生や先輩方が親切に教えてくださりカクテルを楽しく作ることができたのでコンペティションに参加してみようと思えました。実際に会場へ行くと思っていた以上に人が多くて、緊張感があり心拍数が急上昇しました。舞台上立ち緊張して手が震えましたが、先輩方が大きな声援を送ってくださり盛り上げてくださったおかげで笑顔で練習どおり作成することができました。出場された先輩方のカクテル作成はとてもかっこよく感動しました。高校生部門は今年度が初めてのようですが私はとても良い経験となったので来年も是非開催される

とても緊張しました

ると良いなと思います。勇気を出して挑戦して良かったです。貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございます。



来年は最優秀賞を目指します！



一年 時田 瑠瑛 さん

(鹿児島城西高校卒)

カクテルコンペティション当日は練習とは全く違う緊張がありましたが、上手な方の所作を見るのができて貴重な勉強になりました。授業中や放課後の練習ではボトルの持ち方や姿勢、シェイカーの振り方、ステアの見せ方等、友人に何度も見てもらいながら練習しました。最初はボトルの開け方にも苦戦しましたがコツを掴むと自分のやりやすい

開け方を見つけることができ、そこからどうすればお客様に綺麗にお見せすることができるとか等を考えました。ステアもお客様を見ながら行う練習をしました。練習している動画を見返すと自分ではやっているつもりでも思っている以上に動作が小さかったり、お客様を見ていなくなったりしたので客観的に自分を観察することは大事だと改めて感じました。練習では笑顔で周りを見る、次の作業を考えながら進めていく等、当たり前にできていた事が緊張で飛んでしまったりと一つひとつのやる事に一杯で余裕がありませんでした。先輩方を見ると今までの練習量じゃ全く足りなかつたと思つたので来年は必ず最優秀賞を取れるように、納得がいくまで一から練習していきましょうと思います。



「ステア」軽くかき混ぜること。カクテルを作る手法の一つで、ミキシンググラスに材料を入れ、バーンスプーンでかき混ぜた後、ストレーナーを濾し器で水が入らないようにしながらグラスに注ぐことも意味します。

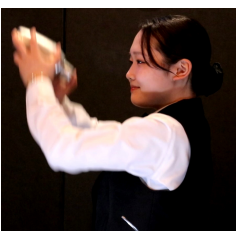
「できることはやれた」と思える演技ができました



一年 平山 愛 さん

(れいめい高校卒)

予選が六月十五日にあり、規定部門の選手として出場することにしました。入学して初めての大会規模イベントだったので、必ず決勝に進みたいという気持ちで苦手な朝も頑張ったり、毎朝二本早い電車であまり早く起きて練習を重ね、予選はなんと突破できました。決勝でミスなくできるか毎日不安でした。約二週間の練習を経て本番はミスなくできましたが、心では緊張していません。そんな中パフォーマンス中に会場の奥を見ると、全力で声援を送ったり、うちわを掲げて応援してくれたりしているクラスメイトを見て、とても心がほぐれました。そこから審査員の方の目を見て演技することができ、自分の中ではできることはやれたと思える演技ができました。反省点を挙げる



と本番慣れしておらず、気持ちか萎縮してしまっていたこと、自信が持てる程に練習が足りていなかったことなどと思います。そして、最優秀賞を受賞された訓練先の先輩でもある上田先輩のパフォーマンスが細かいところまで所作が美しくとても憧れました。来年は先輩のようなパフォーマンスタargetして挑みたいと思います。

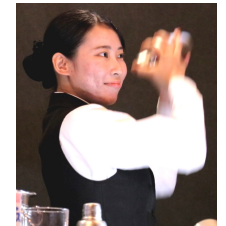
成長を感じられたカクテルコンペティションでした



二年 古別府 凜 さん

(鹿児島女子高校卒)

昨年レシポも手順も覚えられず全くと上手くできず予選敗退でした。今回レシポは覚えていたので、作法が良く見える正しい手順や所作等が全く分かっておらず、上田さんのYouTubeで上がっているカクテル製作中の動画をゆつ



審査員総評
塚田 悠月 様 (本校23期生)



今大会は規定部門・創作部門・高校生部門と3つの部門により演技されました。どの部門において共通することの審査基準として、所作や姿勢はもちろんですが、誰に対して作るカクテルなのか、普段の練習からしっかりとできているか等を中心に見させていただきました。出場された選手の皆様はどれも笑顔が素敵で自信を持って演技されていました。2つアドバイスさせていただくと、ボトルの持ち方とボトルの向き。前述のとおり、誰に対して作っているものなのかということを念頭におき、ボトルのラベルは手で隠すことなく、常にお客様に見える向きを意識していただきたいと思います。今大会、どの選手も素晴らしく私も大変勉強になることばかりでした。今後もカクテルだけではなく飲料に対してもっと興味を持ってくれる学生が増えただけだと嬉しく思います。



審査員総評
B.B.13 BAR 山脇 敬太 様 (本校21期生)



今回審査員としてお招きいただきありがとうございます。まず出場された選手の皆さん本当にお疲れ様でした。毎日の勉強に企業訓練と時間が限られている中で沢山考え、練習した成果が十分に発揮されていたと、とても感じました。今回のテーマが「INFLIGHT」という少し難しいテーマではあったと思いますが、「INFLIGHT+鹿児島らしさ」を出場された5名ともしっかりと出されていて、とても素晴らしいです。規定カクテルに出場された皆さんも私が審査員としてお招きいただいて3回目となりますが、一番技術が高いと感じ、また高校生部で出場された選手も一生懸命練習したんだらうと大変感激いたしました。そして本選に出場されなかった学生の皆さんも素晴らしいです。仲間でありライバルである選手に対して応援、場を盛り上げる、素晴らしい対応でした。学生、高校生の皆さん全員が120点満点でございました。学生の皆さん、この素晴らしいカクテルコンペティションを準備から無事に開催して下さった先生方に感謝をしてください。皆さん本当にお疲れ様でした。